

6 1 「千葉県を歩く5 館山へ」

2014年10月からもう1年半も経ってしまった。この間、秋葉原のオータムリーフに時間が取られ、余裕がなくしばらく遠ざかっていた。

これまで鴨川、勝浦、九十九里、銚子方面に歩いた。主な方向には行ったので、どこに行こうかなかなか決められなかったが、今回は東京湾沿いに館山方面を目指して歩くことにした。

■ 5月23日（月） ①青葉台→木更津

8時55分家をスタート。今日は今年初めての夏日になるという予想なので暑くなることは覚悟だ。国道16号を南下。いつも車で通っている道路だ。日差しは強いが空気はまだ爽やか。

9時25分袖ヶ浦市に入る。しばらく歩き9時55分袖ヶ浦港入り口を通り過ぎる。

10時、三育フーズ工場脇を歩いていると、歩道にカモの親子がいた。写真を撮ろうと近づくと、驚いて中央分離帯の茂みに逃げ込んだ。

千葉県自動車総合大学校があった。自動車整備を主体に教える学校で職業訓練校のようなものだろう。

10時05分、長浦駅を通過。

10時15分、道路の縁石に腰かけて小休止、5分ほどで再び出発。



国道16号に入る。コピナートの煙突が立ち並ぶ



袖ヶ浦市に入る



中央分離帯の茂みに逃げ込むカモの親子

10時50分、県道89号から奈良輪町に入る。奈良輪大井戸のサンクスでコーヒータイム。ベンチに腰掛けて疲れを取る。気温が上昇し汗が止まらない。

11時15分、道路沿いに上総国薬師如来霊場十六番札所「喜光院」があったので立ち寄ってみる。

「四国八十八ヶ所お砂踏み霊場」とあり巡礼者の石像がある。

「三密加持速疾顕重々帝網名即身」という石柱があった。



喜光院

あとで調べたら、これは空海（弘法大師）の教である即身成仏の思想を示した「即身成仏儀」冒頭の「即身成仏頌」といわれる二頌八句の偈頌（げじゅ：韻文の形で教えを述べたもの）だった。

六大無礙常瑜伽	『六大無礙(むげ)にして常に瑜伽(ゆが)なり	(六大は、永遠に結びつき溶け合っている)
四種曼荼各不離	四種曼荼(ししゅまんた)おのおの離れず	(4つの曼荼羅は真実相をあらわし離れない)
三蜜加持速疾頭	三蜜加持すれば速疾に頭(かぶ)る	(三蜜が応じあい速やかに悟りの世界が現れる)
重々帝網名即身	重々帝網(たいもう)なるを即身と名づく	(あらゆる体が珠さながら照り合うのを即身という)
法然具足薩般若	法然に薩般若(さんんにゃ)を具足し	(あるがままに仏の姿をして悟りの智慧をそなえている)
心数心王過刹塵	心数心王(しんじゅしんのう)刹塵(せつじん)に過ぎたり	(人々のすべてに心の主体と作用がそなわっている)
各具五智無際智	おのおの五智無際智(ごちむさいち)を具し	(心の主体と作用に、5つの智慧と際限ない智慧がある)
円鏡力故実覚智	円鏡力の故に実覚智なり	(その智慧をもってすべてを鏡のように照らすとき、真理に目覚めた智者仏となる)

歩き始めて2時間半を過ぎ、両足の付け根に痛みが出て来た。足が上がらなくなり歩幅が狭くなった。袖ヶ浦市坂戸市場を過ぎ、小櫃川を渡るとアクアラインが見え始め、11時45分過ぎに木更津市に入った。



アクアラインに下を通る



木更津市に入る

11時50分アクアラインの下を通過。かなり疲れて来たので休憩を兼ねて昼食にする。

台湾料理「香源」は本格的な台湾料理店だった。

大量に汗をかいたので水を補給する。

海鮮炒めと台湾チャーハンを注文。台湾チャーハンは独特の食器で味はピリ辛で旨かった。足全体が怠く、右足にはマメができてきているようだが木更津駅までもつだろうか？ 長距離を歩くと、靴のせいなのか靴下のせいなのかいつもマメができるので、治療器具と消毒薬を持ち歩いたほうが良いかもしれない。12時35分スタート。40分休憩し、疲れは大分回復した。しかしマメはだんだん痛さが増して来る。

12時45分巖根駅入り口を通過。太陽が真上から照り付け暑い。小中学校時代の同級生が経営している「ファミリーマート高柳店」に立ち寄る。

13時10分歩道の日陰に腰かけ小休止。足の疲労が激しく、マメも大きくなってかなり痛くなってきた。しかしここまで来たら中途半端なところで止められないので、目的の木更津駅に着くまで頑張ることにする。JR久留里線の踏切を通過。ここまで来ると駅まではあと2kmもないだろう。

体全体が重く、足を引き摺って歩く感じ。小休止する適当な場所もないので気力で歩く。道を間違えてはいけないので、通りががりの鮮魚店の人に道を確認すると丁寧に教えてくれた。最初「真っ直ぐ進んで左に曲がる」と教えてくれたが、歩き始めようとするともう一度呼び止めて「踏切りの手前を左」と詳しく教えてくれた。相当疲れているように見えたのだろうか？そこからやっという感じで500mほど歩くと駅が見えて来た。線路脇の「三好屋」で名物の豆大福を買い、JR木更津駅には14時ちょうどに着いた。



今日は18～9kmくらい歩いただろうか。

高校3年間毎日通った木更津駅だが、今では高校の同窓会でたまに来るくらいだ。駅周辺は高校時代とは全く様変わりしているが、その当時の記憶が蘇ってとても懐かしかった。

■ 6月1日（水） ②木更津→佐貫町

1週間に1回程度のペースで歩きたいと思い、天気の様子をみて今日行くことにした。今日は15kmほど歩きJR佐貫町駅まで行こうと思う。

まずJRで木更津駅まで行く。

9時50分スタート。今日は少し雲が出て日差しはさほど強くなく、風は爽やかだ。

10時10分、国道127号に入る。しばらくすると雲がなくなり太陽が優勢になった。

歩き始めて30分、君津中央病院を通り過ぎる。高台に建つ大きな病院だ。丘の斜面に「つつじ」を刈りこんで『チューオービョーイン』とピンクの文字が浮き上がって見える。

君津中央病院といってもまだここは木更津市。このあたりの国道127号は交通量が多い。少し行くと車道と歩道が立体交差になっていて、道路を横断するにも高速道路に入る時のようにぐるっと大回りしなければならない。

10時45分小休止。ファミリーマート「木更津南インター店」で冷たい飲み物を飲む。ファミリーマートは店内にイスが常備され、涼しい店内で座って休憩できるのが有難い。ちょうど11時に君津市に入る。

11時20分、君津市八重原交差点に到着、ここから右折すると君津駅に行くが距離はまだ2km以上ある。ここで携帯のバッテリーが少なくなり、写真が思うように撮れなくなった。歩き始めて1時間半少し経過したところで、足底が少し痛くなってきた。

11時40分、小糸川にかかる松川橋を通過。枯れた大量の竹が川の中州に引っかかり、川の流れを堰き止めそうになっている。11時50分、佐貫7kmポイントを通過、目標のほぼ半分を歩いた。

2時間を経過し左足付け根が重い。君津市街地を抜け、この辺りまで来ると住宅地になり落ち着いた街並みとなる。道路のアップダウンもなくなった。

そろそろ昼食休憩をしようと探しながら行くと、小さな「うなぎ屋」を見つけた。12時5分入店、おじさん一人でやっている店で客は誰もいない。

うな重を注文。うなぎを蒸して焼いて味付けして出てくるまでに30分、久しぶりに食べたうなぎは納得の味だった。ゆっくり休憩することができた。

12時40分再び歩き始める。道路の両側に歩道が整備されさすが国道とっていると、間もなく歩道が切れ車に対する注意が必要になる。



君津中央病院



車道と歩道の立体交差



アスファルトを破って生えて来る雑草の逞しさ

13時10分、初めてのトンネルがあった。入り口に「小山野トンネル」とある。長さは300mくらいだろうか？出口側の光が見え、内部の照明もほどほどに明るい。

自転車で房総半島一周した時を思い出す。自転車でトンネル内を通る時はとても怖かった。まず、車の音が反響しダイレクトに耳に入る。後ろから迫ってくる車が大型トラックだと、徐々に拡大して来る走行音も恐怖だし、負圧で車側に引っ張られ巻き込まれる可能性もありとても危険だ。トンネルに入ると一刻も早く走り抜きたいと思う。歩きでトンネルを通るのは初めてで、そんな経験があるので強い恐怖を感じる。

自転車と違って歩くのは右側だから注意するのは対向車で、壁面に手をつきながらへばり付くように歩いた。とにかく車の運転者に、歩いている人がいることに気付いてもらわなければならないが、万一気付かれなかった場合でも壁面ぎりぎりに歩いていれば跳ねられることはないはずだ。こんなトンネル内を歩いて通過する人がいることなど思いもよらないだろうから、自己責任で通り抜けるしかない。できるだけ早くトンネルを抜きたいが歩くスピードはたかが知れている。とにかく大型トラックが来ないことを祈ったが、運よくこの時は大丈夫だった。

自転車で走った経験から、これから先国道127号をさらに南下するとトンネルが多くなる。外房側と違い内房側は歩道のないトンネルが多いことが分かっているので、より安全な方法を考えなくてはならないと思う。小山野トンネルを出るとすぐに富津市に入った。13時10分。市境のトンネルだったようだ。富津市亀沢あたり、人家はまばらになり廃業した大きなパチンコ店のステンレスの外装が鈍い光を反射する。

13時40分、普和山「最上寺」入口を通過。足全体が重く、足裏には小さなマメができていたようだが、前回と比べるとそれほどひどい疲れはなく歩幅が狭くなることもなかった。前回より距離が短いこともあるだろう。前は15kmを過ぎたあたりからが辛かった。

13時50分、佐貫町駅入り口に着いた。ここまで来れば一安心、駅までもうすぐだ。右折して10分ほど歩くと呆気なくJR佐貫町駅に到着。14時ちょうどだった。歩いた距離は15～6kmだろう。

駅前通りは閑散としていて観るべきものはないようだ。駅に着くとすぐに案内放送があり、14:01分発上り千葉行きの列車がホームに入って来たのですぐに乗車、帰途につく。



■ 6月19日（日） ③佐貫町→浜金谷

梅雨に入りはっきりしない天気が続いている。梅雨どきの晴天は有難いし、雨より勿論いいが、暑くなるので長距離を歩くには適さない。今日は晴れのち曇りの予想。気温も26, 7℃でさほど暑くなくさそうだ。

8時過ぎ家を出てJRで佐貫町に着く。

9時20分、佐貫町駅をスタート。空は晴れているが太陽はそれほど強くない。風は爽やかで楽しく歩けそう。海岸沿いの県道256「新舞子海岸線」に行く。うぐいすの鳴き声が聞こえ、車はたまに通るくらいでのんびりした田舎の道。

9時40分、海が見え始めた。対岸の三浦半島が薄っすらと見える。



9時55分、笹毛踏切を渡ると上り坂になり、5分ほどで小さな峠を越えた。

10時ちょうど、長浜交差点で国道127号に合流、思ったより佐貫町からの距離はなかったようだ。空は曇って来て風が涼しく感じる。

10時25分、上総湊駅に到着。待合室のベンチで休憩、水分を補給する。10時35分再スタート。

11時、松翁院という大きな寺があり、竹岡ラーメン発祥の「梅の家」の前を通る。店の外に10人ほどの人が順番を待っている。

国道127号は内房側の幹線道路で交通量が多いが、片側に歩道が整備されているので安心して歩ける。しばらく行くと鉄道と道路が海岸線ぎりぎりに通る。海に面してリゾート地を感じさせる大胆なデザインの建物が増えて来る。



今日初めてのトンネル「城山隧道」があった。長いトンネルだが、事前調査のとおり横に歩行者用の小さいトンネルが付いているので助かる。「歩道トンネル」と呼ぶようだ。

11時50分、竹岡駅に着く。国道から急坂を上るとすぐにあった。駅は無人駅。時刻表を見ると、朝夕以外列車は1時間に1本しかない。水分補給をして10分ほど休憩。



12時、再び歩き始める。昼食の時刻になり食堂を探す。駅周辺を過ぎると食べ物屋を探すのが難しくなると思い、



すぐに見つけた魚料理「マルゴ」に入る。店内は

満席で数分待ってテーブルが空いた。黄金アジのつくり食に食指が動いたが、ここはアジフライ定食にした。結果的にこの選択は正解で、ほどよい大きさの揚げたてアジフライ（3匹）は大満足だった。

13時、ゆっくり休憩し満腹になって店を出る。今日は保田駅まで歩こうと思っていたが、保田までは予想していたより距離があり、1つ手前の浜金谷駅までにした。

浜金谷～保田間は、歩道のない長いトンネルが2つあり、この区間は鋸山ロープウェイに乗り山を経由して通り抜ける積りなので今日は無理だろう。最終目的の館山までここからまだ30km、保田まで行っても残り20km以上あるのであと1回では歩ききれない。

歩き始めるとすぐに「光藻発生地」(*)があった。

ここから浜金谷まではあと1時間くらいだろう。マメはできていないが、足全体が少し重くなってきた。あまり無理することはない。

この辺りから時々トンネルが現れる。「打越トンネル」は新しく十分な広さの歩道がついていた。次の「洞口隧道」は歩道がない。しかし短いので向う側から光が入り明るくて恐怖感はない。大型トラックが来るといやなので小走りで通り抜けた。



「丑山トンネル」は歩道付きでよかった。

13時25分、全面タイル貼の大きくて立派な洋館風の建物があつた。門扉が閉じられ閉鎖的な感じだ。「Villa Fior di Loto」とありホテルのようだ。

JR線を挟んで山側に金谷国際射撃場があり射撃の音が響いていた。射撃といってもあまり興味はないが、愛好家にとってはこのような所でしか鉄砲を撃つことはできないのだから大切な場所なのだろう。



しばらく歩いて見えてきた「島戸倉トンネル」は歩道付き。今日最後の「大日隧道」は長いトンネルで歩道がないが大きく迂回する道があった。そこを通り再び国道に出るとすぐに金谷フェリーターミナルが見え、ターミナルの少し手前に金谷美術館があった。外壁はコンクリート打ち放し、一部が石貼りになっている。平屋の四角い建物で小さいが存在感のある建築だ。

今日は日曜日で、フェリーターミナルの周辺は多くの人で賑わっていた。

南房総このあたりには、アクアラインを通り木更津経由で来るより久里浜からフェリーで直接来る方が良いのだろうか？

14時ちょうどJR浜金谷駅に到着。足全体が重く足裏も疲れているが、これまでより疲れは少なかった。上り列車は13:46分発が行ったばかり、次は14:53分発までないので1時間近く待たなくてはいけない。これだけ時間があつたのでもう一度戻り、金谷美術館に行けば良かったと今となっては思うが、その時は足がだるくその気にならなかった。



(※1)

竹岡の光藻（ヒカリモ）発生地は、我が国最初の発見地として指定基準「池泉等の珍奇な微生物等の生ずる地域」に該当し、昭和3年(1928年)11月30日、天然記念物に指定された。

この発生地は国道127号線沿いの広さ3~4畳敷程、高さ約3メートル、水深約70センチメートルの海蝕洞穴で、海岸暖地のためか池水の氷結や枯渇がなく、毎年多量に発生する所はここ以外にはない。

県花「ナノハナ」の開花期に水面いっぱいに黄金色を現出するため「こがね井戸」とも呼ばれている。平成25年の台風の影響により崖崩れが発生し、安全を確保するため現在は立ち入りを禁止となっている。

■ 6月27日（月） ④浜金谷→岩井

明日からしばらく雨の日が続くという予報で、今日は逃せないと思い出発した。8時11分発の下り列車で浜金谷9時9分着。

9時10分、浜金谷駅をスタート。雲はほとんどなく日差しは強いが、風には涼しさが残っている。今日は平日なので交通量はさほど多くない。ここから館山までの距離は25km。

今回は浜金谷から岩井まで進むつもりだ。浜金谷～保田間に歩道のない長いトンネルが2ヶ所あるので、この区間は鋸山ロープウェイ経由で行くことにしていた。

浜金谷駅を出るとすぐにロープウェイ乗り場への入り口があったのだが、見逃してトンネルの入り口近くまで来て気付いた。300m後戻りして9時30分に乗り場に着いた。10分のロス。

9時45分発のロープウェイに乗り山頂へは5分ほどで到着。せっかく料金を払ったのだからしばらく眺望を楽しむ。

今日は天気恵まれ、海は鮮やかなブルーで本当にいい眺め。久里浜に向けてフェリーが進み、その先に三浦半島もはっきりと見える。今日は観光客もまばら、静かがいい。

ここから保田に抜けるには「日本寺」を通って行かなければならないので、入場料を払い観光しながら行く。日本寺は鋸山の頂上に作られているので石段が多く、足への負担が大きいので観光はほどほどにしておくのはいい。

千五百羅漢道、大仏を観るだけでも結構な距離とアップダウンがある。千五百羅漢は前面に鉄格子があり「浄財」の箱が下がっているのは興ざめ。

大仏は高さ31mで、奈良東大寺の大仏「盧舎那仏」が18mということだからそれよりずっと高いと知った。木陰が多く直射日光は避けられるが、階段を上り下りしたので汗だくになった。

あまり歩き回ると膝に負担が来るので、ほどほどに日本寺を後にする。

10時半、東口管理所を出て鋸山観光自動車道路を下ろうとするが、訊くと道路は曲がりくねって距離があるので参道を下りた方がいいという。ここから保田駅までは50分かかるとのこと。

参道は急な下りの階段がずっと続き、膝と太腿に疲れがたまる。歩き始めて20分、10時50分頃には緩やかな下り坂の道になり一安心。ずっと階段が続くようなら先が思いやられるところだった。



11時5分、国道127号に合流、いつの間にか鋸南町に入っていた。

11時15分、保田駅入口に着いたが駅には行かずに先を急ぐ。

11時半『ばんや』についた。以前友人から聞いていた。月曜日というのに駐車場には車があふれ満席だった。せっかく昼どきに通りがかったのだから食事して一休みしていこう。

5分待って入店。「漁師おまかせ丼」を注文、出て来たのはタイと白身魚の刺身たっぷりの丼だった。隣の人は佐倉から来たと話していた。このように観光名所化した店より、君津で入ったうなぎ屋のような落ち着いた店のほうがいい。



12時10分スタート。気温の上昇はそれほどでもないが、真上から太陽が照り付け汗が止まらない。建物や樹木によって歩道にできる日陰が有難い。

12時35分、極楽寺を通過すると間もなく安房勝山駅に着いた。5分ほど小休止。

しばらく進むと建物がまばらになり、樹木も少なくずっと日照りを受けながら歩かなくてはならなくなった。足の疲れはそれほどでもないが、汗がどんどん出るので熱中症に注意しなくてはならない。

13時15分、南房総市に入る。

今日初めて歩いて通過するトンネル（勝岩トンネル）があった。新しいトンネルで広い歩道が付いているのは有難い。海水浴場の案内看板が目立つ。

岩井駅に近づき、周りに全く高い建物が見当たらないところに突然高層リゾートマンションのような建物が現れた。

そうこうするうちに13時30分、呆気なく岩井駅に着いた。足の方はあと数キロは歩けると思われたが、暑いので無理をしないようにしよう。

ここから館山へはあと15kmほどなので、次回は館山まで歩くことができるだろう。



■ 7月20日（水） ⑤岩井→館山

来週あたりそろそろ梅雨明けになる。日々、何かと用事のあるなか、本格的な夏になる前に館山まで歩いておきたい。晴れば30℃を超えるこの頃、できるだけ暑くなく当然のことながら雨の降らない日に歩きたい。天気予報をにらみつつ、今日行くことにした。

列車時刻を調べずに駅に向かったのが迂闊だった。ほんの数分のところで館山行きを乗り逃がしてしまった。15～30分に1本はあると思っていたが、君津までは本数があっても、館山は1時間に1本程度しかなかったのだ。

9時30分に駅に着いたが、9時28分発の館山行きは行ってしまい、次は10時37分までない。何と！1時間以上駅で待つことになってしまった。

JR岩井駅には11時49分着、11時50分スタート。これまでで最も遅い時刻のスタートとなった。天気は気象情報どおり、曇りで空気は爽やかだ。ほんの少しだけ雨がパラついたが全く問題ない。

今回の区間は心配事があった。それは厄介なトンネルがあることだ。歩道のあるトンネルなら全く問題はないのだが、事前の調査では国道127号を行くと岩井～富浦の間に、歩道のない薄暗く距離の長いトンネルが2ヶ所もある。何かよい方法はないかと地図を見ていると、岩井駅から少し行ったところから山側に細い道で富浦に抜ける道路があった。しかしこの道路にも200mほどの長さのトンネルがある。国道ではないのでさらに暗く狭いことは間違いない。いろいろ迷った末、山越えのルートに行くことにした。トンネルが越えられるかどうかは行ってからのことだ。

駅から10分ほど歩くと、山越え道路の入り口に着いた。近くのコンビニで飲み物を買う。

細い道路に入ってしまうと食べ物飲み物は手に入らない。

歩きながら車がどのくらい通るのか注意する。平均してほぼ4、5分に1台程度だろうか。

道路は細いながら舗装されて歩きやすいが、上り坂で息が切れ汗が噴き出す。



山越えの道



暗く長いトンネル

歩き始めて30分、トンネル入り口に着いた。予想していた以上に狭くて暗い。全く照明はなく勿論歩道はない。車は4、5分に1台来るか来ないかだから、運が良ければ全く車が来ない間に通り抜けることはできる。しかし、それは確率と運の問題だ。

こんなトンネルをまさか歩いて通る人がいるなんて思わないだろうから、運転者の不注意で轢かれてしまうかもしれない。

迷っていても埒があかないので、意を決してトンネルに入ろうとした瞬間に向うから1台車が入ってきた。こちらからも入ろうとする車が1台来て、向うからの車が通過するのを待っている。先入り優先で、トンネル内は2台通ることはできないのだ。

向かって来る車を見ているとやはり怖い。向うから来た車が通り去って、こちら側で待っている車に手を挙げたら止まってくれた。

「歩いて通れないのでトンネルの向こうまで乗せていただけませんか？」というのと、快く乗せてくれた。70歳くらいのおじさんで、車の中で事情を説明した。館山まで乗せてもいいよと言われたが、有難いけれど目的が違うので、とお礼を言いトンネルを出たところで下してもらった。

できるだけ自力で進みたいが、危険を冒してまですることでもない。これで、今日一番の悩みが解決した。トンネルを抜けると下り坂になり、楽しく歩くことができた。

徐々に日差しが強くなり、どんどん汗が出る。歩いているとこの道路が県道185号ということがわかった。

12時50分、人家が見え富浦町丹生地区に入る。この辺りになると道路幅も広がった。ところどころ房州名産のビワを栽培している農家が見える。

13時5分、特別養護老人施設「アイリスの里（びわの郷）」

13時25分「富浦こども園」を通りしばらく歩くと、13時30分、福沢交差点で国道127号に合流した。

交差点にあった、お魚市場

「きよっぱち（清八）」で昼食。

30分間休憩して14時スタート。

歩き始めるとすぐに「館富トンネル」があり、抜けると館山市に入った。館山市の入り口は道路の両側に棕櫚並木があり、南国に来たという感じがする。

ここまで来れば、目的地はあと5kmほどだろう。



ソテツ畑



「きよっぱち」(清八)



館山市入口（棕櫚並木）

館山市内の建物や案内看板、店舗看板などのデザインは、何だか洗練されているような気がする。

やや足の疲れも出てきたが、問題なく歩き通せそうだ。

14時30分館山市那古を過ぎ、国道127号のバイパスを進んでいると、次々と全国展開をしているお馴染みの大型店舗が現れる。日差しが強く、蒸し暑く汗が噴き出る。こんな中、道路で測量をしている作業員がいて大変だなあ、と思う。

15時州崎入口を過ぎるころから両足の付け根が痛くなってきた。GPSで位置を確認すると、もう館山中心部にかなり近づいている。

15時20分、館山三中の横を通り抜け、住宅地に入っていく、勘を頼りに進んでいくと数百メートル先に車の通る大通りが見え、駅前通りということがわかりやっとな安心。

かなり重くなった足を引きずりながら15時30分、JR館山駅に着いた。

今日は12～3kmというところだろう。

館山駅は明るく南国の駅という感じ。

ここが今回の最終目的地。5月23日に歩き始め5回で館山に着くことができた。

房総半島南部はトンネルが多く事前調査が必要で、計画にも神経を使った。

浜金谷～保田間はロープウェイで山越え、今日の岩井～富浦間は、止むをえず車に乗した。

健康のため安全に楽しく歩くことが目的なので、無理をしないことが最も大切だ。

自分で決めた目的地に着いたときの充実感と達成感は、何物にも替えがたく、これからも続けたい。

館山駅で45分ほど待ち時間があり、その間しばらく充実感に浸っていた。(2016.7.20)

